

# 水戸協同病院総合診療科（総合内科）：キャリア形成プログラム（修学生医師向け）

## <特徴> 研修環境

- ・初期臨床研修制度基幹型研修指定病院です。
- ・研修に必要な図書室とインターネット環境があります。筑波大学附属図書館と直結したインターネット回線があり、筑波大学で契約している電子ジャーナルを共有しています。
- ・病院職員（常勤）として勤務環境が保障されています。
- ・メンタルストレスおよびハラスメントに適切に対処する部署があります（茨城県厚生連内）。
- ・女性専攻医が安心して勤務できるように、休憩室、更衣室、仮眠室、シャワー室、当直室があります。
- ・敷地内に院内保育所があり、利用可能です。
- ・全員に、専用の机・イス・インターネット回線（有線、Wi-Fi）があります。
- ・周辺は日本最高ランクのスーパー・グルメ地域

## 豊富な症例

専攻医 1 人あたりの受持ち患者数は、受持ち患者の重症度などを加味して、担当指導医、上級医の判断で 15 ～ 20 名程度を受持ちます。サブスペシャリティ領域に係わらず、入院患者を主担当医として退院するまで受持ちます。

- ・日本内科学会内科専門医、日本内科学会総合内科専門医、日本病院総合診療医学会認定医が取得可能です。
- ・あるシニアレジデントの研修記録（6ヶ月間、入院計159例）

糖尿病 35例、心不全 18例、腎不全 16例、肺癌 9例、胆道疾患 8例、肝硬変 7例、精神疾患 7例、狭心症 6例、肺炎 5例、尿路感染症 5例、イレウス 4例、関節リウマチ 4例、蜂窩織炎 4例、上部消化管出血 3例、間質性肺炎 3例、脳梗塞 3例、虚血性腸炎 3例、大腸癌 3例、他に髄膜炎、感染性心内膜炎、胃癌、クローン病、気管支喘息、サルコイドーシス、尿崩症、インスリノーマ、シェーグレン症候群、強皮症、副腎不全、等々

## <研修例> ※あくまで例であって、個別にアレンジします

初期研修
内科専門研修
内科系Subspecialty専門研修

1年目 2年目 3年目 4年目 5年目 6年目 7年目 8年目 9年目 10年目 (備考)

### (1)地域枠(義務年限9年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(総診Attending)	水戸協同病院(総診Attending)	水戸協同病院(又はA3,A4,B2,C2)	水戸協同病院(総診Attending)	総合内科重点コース チーフレジデント制度あり	
				内科専門医取得		総合内科専門医取得				
ケース1	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(大学院所属)	水戸協同病院(大学院所属)	A3,B2,C2	水戸協同病院(大学院所属)	筑波大学社会人博士コース(総合診療科、代謝内分、循環器内科)	
				内科専門医取得		総合内科専門医取得 医学博士取得				
ケース2	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(代謝内分)	A3,B2,C2	水戸協同病院(代謝内分)	A4,B3,C3	水戸協同病院(代謝内分)	サブスペシャリティコース(代謝内分、循環器内科、呼吸器内科、消化器内科、腎臓内科、神経内科)
				内科専門医取得		内科サブスペシャリティ取得				

### (2)一般修学(義務年限6年間)

ケース1	初期研修(医師不足地域内)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	C1	水戸協同病院(総合診療科)	水戸協同病院(総合診療科)	総合内科重点コース 県外研修有り
				内科専門医取得		総合内科専門医取得		
ケース2	初期研修(医師不足地域内1年、医師不足地域外1年)	水戸協同病院	A1,A2,B1,C1	水戸協同病院	水戸協同病院(代謝内分)	水戸協同病院(代謝内分)	水戸協同病院(代謝内分)	サブスペシャリティコース
				内科専門医取得		総合内科専門医取得		

### 【総合内科専門研修研修病院群】

基幹病院	水戸協同病院
A群病院群(医師不足地域内病院)	高萩協同病院、茨城県立中央病院、水戸医療センター、水戸済生会総合病院、西南医療センター病院、ひたちなか総合病院、那珂記念クリニック
B群病院群(医師不足地域外病院)	筑波大学附属病院、土浦協同病院
C群病院群(県外・海外病院)	都立多摩総合医療センター、麻生飯塚病院、虎の門病院分院、沖縄協同病院、中頭病院、浦添総合病院、豊見城中央病院、岡山大学病院、川崎幸病院、長崎大学病院、島根大学医学部付属病院、帝京千葉研修センター、獨協医科大学埼玉医療センター、八戸市民病院